

『業界振興事業の推進に努め、実り多き一年に』

平成 21 年大阪卸売業界新年互礼会



新年互礼会会場風景



井澤会長

の皆様に閲覧していただけるように当連合会のホームページのリニューアルを行ったところです。今後も、ホームページをはじめ、交流会や研修会などの人的なネットワークの充実を図ってまいります」と実りの多い事業の推進に向けて抱負が述べられた。

つづいて、平成 20 年春・秋の叙勲受章者である元大阪ニット卸協同組合 理事長 加藤隆正氏、及び褒章受章者である協同組合関西ファッション連合 副理事長 植本 勇氏、大阪建築金物卸商協同組合 前理事長 児玉直樹氏、社団法人大阪府エルピーガス協会 元副会長 馬場久男氏の 4 名に井澤会長より記念品が贈呈された。長年にわたる功労と精進を讃え出席者全員で祝福し、盛大な拍手が贈られた。

社団法人大阪卸商連合会は、平成 21 年 1 月 13 日午前 11 時から大阪市中央区のホテル日航大阪 4 階「孔雀の間」において、平成 21 年大阪卸売業界新年互礼会を開催した。

当日は来賓をはじめ会員・関係企業など、126 名の出席を得て華やかに新年を祝った。

式典は国歌斉唱のあと、主催者である社団法人大阪卸商連合会の井澤武尚会長があいさつをした。井澤会長は、本年も引き続き厳しい状況は続くとしながらも、「当連合会として、国、大阪府、大阪市における原油・原材料や金融支援に即応した緊急対策を速やかに発信するとともに、会員の皆様が主催される展示会などを会員以外の多くの



叙勲受章者の元ニット卸協同組合加藤理事長



木村副知事



森下副市長



近畿経済産業局産業部産業課長

その後、来賓を代表して橋下 徹大阪府知事から祝辞をいただいた。代読の木村慎作副知事は「私が副知事の辞令をいただいてから3ヶ月、あっという間に景気が転がり落ち、とんでもない状況ではありましたが、民間の視点で橋本府政のサポートにあたってまいりました」とあいさつをしたうえで、「今こそがこの国のカタチを変えるチャンス。大阪を再び輝かせるため、関西州の実現を目指した地方分権や、子どもたちが夢や希望を持ち続けられるよう教育の充実にも全力で取り組んでまいります。また、大阪府として セイフティネットを中心とした施設の拡充を図ってまいります」との橋下府知事からの力強いメッセージを代読された。

また、平松邦夫大阪市長（代読：森下 暁副市長）からは「大阪市では、全庁的な緊急対策本部を設置し、国や大阪府、各経済団体との連携を図りながら、企業の経営と市民生活の安定に力を尽くしてまいります。今後も、状況の変化に対応した施策を積極的に推進し、産業政策の発展に力を注ぐとともに、『一番住みたいまち大阪』の実現をめざして取り組んでまいります」とのお言葉をいただいた。

つづいて、近畿経済産業局 産業部 産業課長 園 利彦氏の乾杯の音頭で懇親会が開会された。会場は今後の先行きに対する不安はあるものの、新年を祝う和やかな雰囲気にも包まれた。

メッセージ・祝電を頂いた方々

大阪府知事 橋下 徹様、大阪市長 平松 邦夫様、前衆議院議員 左藤 章様、大阪商工会議所会頭 野村 昭雄様、大阪府中小企業団体中央会会長 岡本 樽雄様、株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長 関 哲夫様、住友生命保険相互会社代表取締役社長 佐藤 義雄様